

学校教育目標
清く・正しく・たくましく
～知・徳・体の調和のとれた豊かな人間形成～

今年度重点目標
自分で考え、学びあえる子
～認め合い、支え合い、思いやりの心を持って、あきらめず学びあえる子の育成～

**研究主題 主体的・対話的で 深い学びをめざして
(全教科通じて)**

主題設定の理由

本校の子どもたちは、明るくて元気でひとなつっこい。また、朝読書や委員会活動、学校行事、地域行事には真面目に積極的に取り組む姿が見られる。一方、自ら進んで課題に取り組めない子どもや自分の考えに自信が持てず、自己表現を苦手とする子どもも多くみられる。令和2年度から始まる新学習指導要領から求められる資質・能力が変わり、思考力・判断力・表現力の育成が重要視されるようになる。それらの能力の育成のために、主体的・対話的で深い学びをめざした授業方法を研究する必要がある。以上のことを踏まえて、今年度は、全教科で主体的・対話的で深い学びを積極的に取り入れた授業方法の研修を学校全体で取り組み、子どもたちが自ら考え、学びあえる学習環境のユニバーサルデザインを実践し、思考力・判断力・表現力の育成に迫りたい。

研究仮説

主体的な学びを引き出す学習課題を設定したり、友だちとの学び合いを充実させる授業展開を工夫すれば自ら学び、思いを伝え合う子どもを育成することができる。

視点1：学習意欲が高まり、学び合える授業をめざす

視点2：表現する力の高まりを実感できる授業支援と評価

授業実践

- ①各学年で研究授業・研究協議は行う。(必ず指導略案を作成する)
- ②相互参観は前期1回・後期1回、年間一人2回実施。低・中・高(所属する支援担任も含める)のブロック体制で授業参観できるよう工夫し、学年・管理職は必ず視察・研究協議で指導助言する。
- ③研究主題に基づいた年2回、全体研究授業、研究協議会実施、(年1回公開授業)全教科可
- ④校内研究部で各ブロックでの成果と課題などの交流
- ⑤PDCAサイクルを実践し、OJTを行い授業力の向上をめざす
※適宜、アンケートなどで子どもたちの実態把握を実施



授業研究が高まる学校

授業研究へのイメージを変える
～授業研究はおもしろい!～
～互いに授業を高めあうこと
は楽しい!～